

自然の素晴らしさや科学の本質を理解し、わかりやすく伝える教員を育成。

科学の発展が不可欠とされる現代で、理科への深い知識と経験を持つ教員への期待が高まっています。

小学校全教科の指導力を備えた心豊かで情熱ある理科に強い小学校教員、および理科の深い専門知識と教材研究・開発力を持つ中学校教員を目指します。自然科学と科学技術の観点から理科の本質を学びます。

4年間の学び

義務教育専攻理科専修の学びは、自然科学の専門領域である物理学、化学、生物学、地学と教科教育学としての理科教育学の5学修領域で構成されています。1年次から2年次までは、これら5学修領域の基礎的な学問内容について体系的に学びます。特に2年次では、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験の授業を履修する中で、自然科学の探究に要する実証的な方法論を修得します。こうした1、2年次の学びが小中学校理科教員として欠かせない教材研究・開発力を育てることになります。2年次後半までに5つの学修領域から自らが深く究めたい領域を決めて、3年次から研究室に属することになります。3年次以降は各学修領域の履修モデルに従って、より専門性の高い科目を学んでいきます。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業研究を実施して、その成果を卒業論文としてまとめます。



2022年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等音楽科教育内容A	生物学II	初等理科教育法B	初等図画工作科教育内容A	ドイツ語II
2時限	初等算数科教育内容A	化学演習	初等家庭科教育法A		
3時限	英語コミュニケーションII		この時間を使って「学校体験活動!」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	物理学実験	
4時限		教育システム論			物理学II
5時限					

*上記時間割で示した授業科目以外に2年前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。

主な授業科目

- 物理学I,II
- 物理学実験
- 化学I,II
- 化学実験
- 生物学I,II
- 生物学実験
- 地学I,II
- 地学実験
- 初等理科教育法B
- 中等理科教育法CI,CII,CIII,CIV
- 物理数学
- 基礎物理学演習
- 応用物理学演習
- 基礎物理化学演習
- 有機化学演習
- 物理化学A
- 生物学基礎演習A
- 生物学基礎演習B
- 地球環境科学
- 野外生物実習
- 環境生物学実習
- 里山体験実習
- 臨海実習

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(理科)

【取得を優先して薦める免許状】

中学校教諭一種免許状(理科)

【所定の科目履修で可能とする免許状】

高等学校教諭一種免許状(理科)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice



初等教育教員養成課程
理科選修4年
愛知県立
松蔭高等学校出身

*学生の所属は改組前の名称です

物理・化学・生物・地学・理科教育について学び、さらに自分の興味分野を研究できます。

3年生で配属研究室が決定すると自分の深めたい分野を学びます。私は微生物の研究を行っており、大好きな生き物と触れ合えるのは楽しいです。植物を育てながら植物ホルモンの効果を実際に見て確認できる「植物生活環実験」という授業では、植物だけでなく虫や爬虫類についても学習でき、印象的でした。理科の先生方は専門的な知見のもとで指導・支援してください、講義内容はもちろん、一人の人として尊敬できる部分がたくさんあります。将来は学んだ知識や指導技術を生かし、子どもたちと親身にかかわることができる教員になりたいです。